

小麦新品種「ゆめちから」の認定品種採用

【背景・目的・成果】

県産麦を活用した製品開発をサポートするため、タンパク質含量が高く、しょうゆ製造に適した新品種「ゆめちから」を2012年11月に認定品種として指定した。本品種はパン用としても適性が高く、今後の新製品開発が期待できます。

■ 栽培特性

- 1 「シロガネコムギ」と比較して、出穂期は16日程度、成熟期で9日遅い極晩生品種。
- 2 10月上旬～12月上旬に播(は)種すれば、ほぼ同時期の6月4半旬に成熟するため、播種適期が長い。
- 3 稈(かん)長はほぼ同じで、穂長は長く、穂数はごく少ない。
- 4 千粒重は同程度である。赤さび病、赤かび病の発生は同程度であり、倒伏には比較的強い。湿害には特に弱い。

■ 品質特性

- ・ 子実タンパク質含量は実肥施用で安定して13%程度であり、醸造(しょうゆ)適性が高い。



生育、粒、穂の状況(左:ゆめちから、右:シロガネコムギ)

表 「ゆめちから」の品種特性(2007-2011年播種:場内標肥)

	出穂期	成熟期	倒伏程度	稈長	穂長	穂数	収量	対照比	千粒重
	月.日	月.日	0-5	cm	cm	本/m ²	kg/a	%	g
ゆめちから	4.27	6.13	0.6	78	9.7	608	50.5	94	35.3
対照)シロガネコムギ	4.11	6.04	1.3	77	7.8	781	54.0	100	33.8

注)倒伏程度は、0(無)～5(甚)の6段階で示す

【技術の活用】

「ゆめちから」はグルテン強度がきわめて強く、しょうゆ用以外にも、「ふくほのか」等の品種とブレンドすることにより高品質のパン生産が可能であり、新規用途の製品開発が期待できます。2012年現在の作付面積は、西播磨地域を中心に約230ヘクタールです。